



文化祭を終えて……

文化祭開けの11月2日(火)の校内は、先週末に文化祭があったことなどイメージできない程、いつもの校内に戻っていました。子どもたちは、授業や給食、掃除、放課後の部活動など、日々の学校生活を当たり前のように送り、日常を取り戻していました。

この1ヶ月弱、文化祭に向けて取り組んできた子どもたちは、確実に成長しています。合唱に向けて学級がまとまったり、学年の結束が一段と高まったりしています。日々の日常の中で、つけた力をどう発揮し、どう生かしていくのか、これらがどう生かされていくのか、とても楽しみです。

<3年生学年合唱>

最後の文化祭となる3年生……生徒や学年の先生方の合唱に込める思いはひとしおでした。光市民ホールで披露した学年合唱は、まさに3年生の思いが込められたものでした。当日は、3年生の保護者のみの鑑賞だったため、多くの方々にその思いに触れていただくことができなかったのが残念です。当日の3年生の合唱の動画を浅江中HP「新着情報」(QRコード参照)にアップしたので、ぜひご視聴ください。3年生の思いを少しでも感じていただければ……と思います。

3年生がステージで学年合唱を披露する前に、

中野遙菜(3-1)さんが鑑賞者にむけて、3年生の思いを以下のように伝えました！！

中学校に入って、私たちはクラス合唱や学年合唱、全校合唱の練習をすることで、歌うことの楽しさや喜びを知りました。みんなで1つのものを創り上げることは、決して簡単なことではありません。しかし、その楽しさや喜び、そして歌い上げた時の感動をぜひ後輩たちに引き継ぎたいと思っています。

中学校で歌う最後の学年合唱「信じる」という曲には、自分自身を信じる・自分以外の人を信じる、そして世界・すべてのものを信じるというふうに、広がる「信じる心」が描かれています。世の中では、様々な困難なことが常に起こり続けています。そんな状況だからこそ、お互いを信じ合い、そして、明るい未来を信じて、私たちは頑張っていかなければなりません。その思いを込めて、今日は歌います。皆さんの心、そして、今までご指導してくださった小野先生に私たちの歌が届くことを願って……。



合唱曲 『信じる』

指揮者 村田 聡子
伴奏者 原田 爽花

